

シェアー博士が予言するデジタル社会の将来像

■将来、『「私は開発者です、私がすべき仕事を与えてください。」では、立ち行かなくなる。』と、Scheer博士は、公言しています。



Digitalisierung eats the World

■ Scheer博士の公言 『デジタル化が世界を食い尽くす』のポイント

	現在	将来
1. 開発プロセス	インサイドアウト(自社の事業活動が社会・環境問題にどう影響するか)	アウトサイドイン(社会・環境問題が自社にどう影響するか)
2. ソフトウェア開発	ウォーターフォールモデル	アジャイルメソッド／QuickWin フィードバックや変更要求にすばやく対応できるように、より小さなステップで開発し、完了までの時間を短縮
3. 品質保証	インテグレーターが請け負う。 <u>インテグレーターは個別システムの統合のためにシステム全体の機能に責任を持ち、プロセスのコンテキストを維持すること。</u> APIはこの中の一部の技術にすぎなくなる。また、 <u>フローとロジックを含んだ、プロセスの記述が必要</u> です。システム統合のテーマはますます重要になるが、それがアキレス腱でもある。	
4. エグゼクティブ	<u>CIO とCDO がビジネスモデルにもっと関心を持つこと。</u> 優秀なマネージャーは <u>ビジネスとテクノロジーの間を立ち回れる人。</u>	
5. 設計者	機能スキル重視	<u>プロセス重視。</u> もはやSAP/Oracleの機能を答えるだけでは済まない。
6. Java開発者	「私は開発者です、私がすべき仕事を与えてください」のスタンス通用	左記では立ち行かなくなる。 新しい業務メソッドが仕事の変革をもたらす。

■2年前に、Scheer博士が『デジタル化が世界を食い尽くす』と公言する中、今になって**日本は、2025年に瓦解(がかい)と国が公言**した。

➤ DXレポート ～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～

- [DXレポート ～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～\(サマリー\)\(PDF形式:1,301KB\)](#)
- [DXレポート ～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～\(本文\)\(PDF形式:4,895KB\)](#)
- [DXレポート ～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～\(簡易版\)\(PDF形式:2,693KB\)](#)

➤ <http://sensait.jp/2292/>からの引用

日本はデジタル化の壁を超えられず、2025年にすべてが瓦解するだろう、というレポートだ。要するに私達が使っているITシステムは、そのベースに基幹系のシステムがあるのだが、その基幹系システムを忘れたツケが2025年に日本を襲うだろう、というレポートだ。このレポートは現在、IT関係者の間で大きな話題となっている。しかしながら、この壁は「現在のまま」では超えられない、ということが語られているのであって、**「現在のまま」ではなく、より進化することによって超えられる**、ということでもあることは言うまでもない。



残念ながら上記レポートには、どのように進化すればよいかは、Scheer博士のインタビュー記事程明確に記されていない。“ビジネスモデル”、“イノベーション”は、キーワードの引用止まりで、必要な事しか記されず、それが何かも、どうすればよいかも明確に記されていない。



➤ 日本 = 経産省の捉え方

- <https://www.rieti.go.jp/jp/events/bbl/18092701.html>
- https://www.rieti.go.jp/jp/events/bbl/18092701_kawase.pdf

決して、国(経産省)に“楯を突く”つもりはありませんが、あまりにも、

- ・問題提議止まり
- ・まとめ方も筋が無く、雑多なまま。

すなわち、モデル化が出来ていないことが致命的と感じるのは、私だけでしょうか。

➤ シェアード博士の受け売りではありますが、私だったら以下の様にまとめます。

- https://bpm-navigator.com//files/contents/First_in_Japan.pdf

